

「限定運用」が順次開始され、現場運用の検証が進んでいます。

1 「限定運用」について

- 建設キャリアアップシステムについては、本年4月からの「本運用」を円滑に進めるため、1月から3月までシステムを利用できる現場を限った「限定運用」を24現場で実施して、様々な現場運用における課題を検証しています。
- ここでは、2月14日に開始した(株)中筋組、2月18日に開始した大安建設(株)における動向についてご紹介いたします。
- 関係者の皆様のご支援・ご協力に心より感謝いたします。

2 (株)中筋組における取組について

- (株)中筋組は、島根県出雲市に本社のある地域ゼネコンです。
- 限定運用の現場は、「大田静間道路静間川橋下部第3工事」で、国土交通省松江国道事務所発注の道路工事です。施工場所が島根県大田市の市街地から離れているため、必要なインターネット環境に支障がないかという検証ポイントがありました。
- また、現場事務所と施工場所が離れていることから、技能者の利便性を考慮し、現場事務所ではパソコンを使い、施工場所では現場監督の方がiPadを持参する方法を選択して、それぞれに就業履歴登録アプリ「建レコ」をインストールして、双方の動作を確認しました。
- 建設キャリアアップカードをカードリーダーにかざし、問題なく就業履歴の蓄積ができました。
- 特に、iPadのほうは、施工場所に持ち込む際、落下防止、雨天の場合の対処などノウハウを蓄積していく必要性が確認されました。



3 大安建設(株)における取組について

- 大安建設(株)は、全建総連傘下の首都圏建設産業ユニオンに参加している工務店です。
- 限定運用の現場は、「草加マンションリフォーム工事」で、民間マンションの一室のリフォーム工事です。「建レコ」をインストールしたiPadを現場の棚の上に置き、動作を確認しました。
- 建設キャリアアップカードをカードリーダーにかざし、問題なく就業履歴の蓄積ができました。
- 小規模な住宅リフォーム工事の場合、複数現場を対象として機動的にカードリーダーをセットして運用していくことについて様々な課題が挙げられました。また、就業履歴の蓄積を行う前の段階で、現場・契約情報の登録や施工体制登録等を簡便な方法で行うことの重要性が確認されました。

